



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年10月26日

上場会社名 エムケー精工株式会社
 コード番号 5906 URL <https://www.mkseiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 2018年11月2日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 丸山 将一
 (氏名) 小林 文彦
 TEL 026-272-0601

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年3月21日～2018年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	10,979	9.8	561	22.0	583	18.6	489	10.1
2018年3月期第2四半期	9,995	0.6	719	5.9	716	4.6	444	7.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 468百万円 (10.4%) 2018年3月期第2四半期 423百万円 (148.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	33.79	
2018年3月期第2四半期	30.68	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	26,384	11,122	42.2	767.00
2018年3月期	20,856	10,770	51.6	742.72

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 11,122百万円 2018年3月期 10,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		8.00	8.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年3月21日～2019年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	5.0	700	17.5	700	18.9	400	16.3	27.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	15,595,050 株	2018年3月期	15,595,050 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	1,093,905 株	2018年3月期	1,093,905 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	14,501,145 株	2018年3月期2Q	14,501,218 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期第1四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、緩やかな回復基調で推移いたしました。また、海外経済につきましては、堅調な米国経済を背景に全体として景気回復が持続しましたが、貿易摩擦の激化への懸念が高まっているほか、原油価格の上昇や地政学的リスクなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、オート機器の分野では活発な設備投資が続き堅調に推移しましたが、情報機器及び生活機器の分野では、市場の伸び悩みや激しい価格競争により厳しい経営環境が続いております。

こうした状況のもと、本年創立70周年を迎えた当社グループは、新たな成長フェーズへ踏み出すべく、モノづくりの原点回帰と顧客視点に立った商品開発、サービス品質の向上に取り組んでまいりました。また、コア技術力のさらなる深耕と他分野への応用力の強化を進め、中長期的な企業価値向上の実現と持続的な成長を支える人材の育成に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は109億7千9百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は5億6千1百万円（前年同期比22.0%減）、経常利益は5億8千3百万円（前年同期比18.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億8千9百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(オート機器事業)

主力製品の門型洗車機は、SS向け洗車機が政府補助金制度の対象から外れた影響を受け、伸び悩みましたが、カーディーラー向けは新機種効果から伸長しました。オイル機器では、記録的な猛暑によりエアコンプレッシャーが好調に推移し、また温水式スプレー洗車機も前年同期実績を上回りました。その結果、売上高は前年同期比1.0%減の68億9千万円となりました。

(情報機器事業)

一般店舗向け小型表示機は前年同期の実績に比べて減収となりましたが、SS向け看板は積極的な営業活動の展開により伸長し、また道路工事用表示機も堅調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比16.7%増の8億1千3百万円となりました。

(生活機器事業)

農家向け商材主力製品の低温貯蔵庫や保冷米びつ、一般家庭向け商材の電子レンジ置き台は、消費動向の冷え込みの中、前年並みに推移しました。一方、新発売した小型保冷米びつや黒にんにくメーカー、またワイヤレステレビスピーカーなどの耳関連商品は好調に推移し、売上が伸長しました。その結果、売上高は前年同期比38.3%増の23億4百万円となりました。

(住設機器事業)

主として子会社の株式会社ニューストが行う事業で、木・アルミ複合断熱建具、反射板式消音装置等を製造・販売しております。建設業界全体が活況を呈する中、民間物件も需要が大幅に伸び、当社におきましても好調に推移しました。その結果、売上高は前年同期比53.0%増の8億8千1百万円となりました。

(その他の事業)

保険代理業、不動産管理・賃貸業、及び長野リンデンプラザホテルの運営に係るホテル業が主体となります。ホテル業は、お客様のニーズを踏まえたサービス品質の向上に努めておりますが、価格競争による厳しい環境が続いております。その結果、売上高は前年同期比3.1%減の9千万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ55億2千7百万円増加し263億8千4百万円となりました。流動資産は34億1千5百万円増の143億4千5百万円、固定資産は21億1千2百万円増の120億3千9百万円となりました。これは主に事業の閑繁等の季節的要因に伴い受取手形及び売掛金が12億7千4百万円増加、たな卸資産が13億7千7百万円増加したことと、のれんが11億5百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の合計は、前連結会計年度末に比べ51億7千5百万円増加し152億6千2百万円となりました。流動負債は30億1千5百万円増の109億1千4百万円、固定負債は21億6千万円増の43億4千7百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3億8千9百万円増加、短期借入金が19億7千2百万円増加、長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ3億5千2百万円増加し、111億2千2百万円となりました。これは主に利益剰余金が3億7千3百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ4億3千8百万円増加し、7億9千2百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、6億1千万円（前年同期比2億2百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益7億6千9百万円を計上したことや仕入債務の増加額2億7千3百万円により資金が増加した一方、売上債権の増加額7億7千9百万円とたな卸資産の増加額9億5千7百万円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、24億2千1百万円（前年同期比21億8百万円の増加）となりました。主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出23億1千万円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、34億7千2百万円（前年同期比28億2千9百万円の増加）となりました。主な要因は、短期借入金の純増額14億3百万円や長期借入れによる収入25億1千万円により資金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の通期業績予想につきましては、2018年4月27日発表の「平成30年3月期決算短信」で公表しました業績予想から変更はございません。

今後、業績予想数値に修正が生じる場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,714,974	2,434,858
受取手形及び売掛金	4,198,938	5,473,510
商品及び製品	1,796,069	2,152,322
仕掛品	1,322,583	1,813,641
原材料及び貯蔵品	1,476,289	2,006,240
その他	447,096	496,167
貸倒引当金	△26,048	△31,488
流動資産合計	10,929,903	14,345,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,340,145	2,421,572
機械装置及び運搬具(純額)	434,913	473,964
土地	2,977,678	3,522,851
その他(純額)	616,886	636,062
有形固定資産合計	6,369,623	7,054,450
無形固定資産		
のれん	512,718	1,618,048
その他	464,222	525,954
無形固定資産合計	976,941	2,144,003
投資その他の資産	2,580,455	2,840,934
固定資産合計	9,927,020	12,039,388
資産合計	20,856,924	26,384,640

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	926,201	1,315,914
短期借入金	1,680,000	3,652,780
1年内返済予定の長期借入金	949,043	1,198,943
未払金	3,224,583	3,362,843
未払法人税等	211,336	318,536
賞与引当金	317,300	361,860
引当金	182,427	182,427
その他	408,482	521,571
流動負債合計	7,899,374	10,914,877
固定負債		
長期借入金	1,200,988	3,225,314
退職給付に係る負債	113,891	170,982
その他	872,414	951,070
固定負債合計	2,187,294	4,347,366
負債合計	10,086,668	15,262,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,373,552	3,373,552
資本剰余金	2,951,143	2,951,143
利益剰余金	4,375,279	4,749,231
自己株式	△510,457	△510,457
株主資本合計	10,189,518	10,563,469
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	413,676	402,349
繰延ヘッジ損益	△13,229	5,559
為替換算調整勘定	52,788	23,346
退職給付に係る調整累計額	127,502	127,671
その他の包括利益累計額合計	580,737	558,927
純資産合計	10,770,256	11,122,396
負債純資産合計	20,856,924	26,384,640

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)
売上高	9,995,583	10,979,473
売上原価	6,446,630	7,348,804
売上総利益	3,548,952	3,630,668
販売費及び一般管理費	2,829,700	3,069,429
営業利益	719,252	561,239
営業外収益		
受取配当金	19,839	20,672
その他	27,749	44,219
営業外収益合計	47,588	64,892
営業外費用		
支払利息	30,825	34,048
その他	19,105	8,466
営業外費用合計	49,931	42,514
経常利益	716,910	583,616
特別利益		
固定資産売却益	55	—
負ののれん発生益	—	186,518
特別利益合計	55	186,518
特別損失		
固定資産除売却損	470	270
特別損失合計	470	270
税金等調整前四半期純利益	716,495	769,864
法人税、住民税及び事業税	262,937	264,204
法人税等調整額	8,648	15,699
法人税等合計	271,586	279,903
四半期純利益	444,908	489,960
親会社株主に帰属する四半期純利益	444,908	489,960

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)
四半期純利益	444,908	489,960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58,846	△11,327
繰延ヘッジ損益	△18,851	18,789
為替換算調整勘定	△73,096	△29,441
退職給付に係る調整額	12,100	168
その他の包括利益合計	△21,002	△21,810
四半期包括利益	423,906	468,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	423,906	468,150

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	716,495	769,864
減価償却費	248,768	247,454
のれん償却額	54,432	79,466
負ののれん発生益	—	△186,518
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	107	455
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,640	△6,587
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△40,846	△62,200
受取利息及び受取配当金	△24,121	△28,636
支払利息	30,825	34,048
有形固定資産売却損益 (△は益)	△55	—
有形固定資産除却損	470	270
売上債権の増減額 (△は増加)	△925,380	△779,942
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,080,182	△957,662
その他の資産の増減額 (△は増加)	23,870	75,419
仕入債務の増減額 (△は減少)	540,422	273,864
その他の負債の増減額 (△は減少)	258,611	80,985
小計	△194,944	△459,717
利息及び配当金の受取額	24,118	28,622
利息の支払額	△31,313	△34,685
法人税等の支払額	△206,408	△145,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	△408,547	△610,795
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,076,917	△1,096,472
定期預金の払戻による収入	950,360	1,073,291
有形固定資産の取得による支出	△184,127	△77,936
有形固定資産の売却による収入	55	—
無形固定資産の取得による支出	△490	△66,469
投資有価証券の取得による支出	△2,572	△2,788
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,310,728
その他の収入	9,232	65,905
その他の支出	△8,475	△6,718
投資活動によるキャッシュ・フロー	△312,934	△2,421,917
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,155,000	1,403,403
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△74,706	△67,947
長期借入れによる収入	50,000	2,510,000
長期借入金の返済による支出	△271,563	△256,851
社債の償還による支出	△100,000	—
自己株式の取得による支出	△33	—
配当金の支払額	△116,009	△116,009
財務活動によるキャッシュ・フロー	642,687	3,472,596
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,798	△1,782
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△84,594	438,100
現金及び現金同等物の期首残高	595,216	354,399
現金及び現金同等物の四半期末残高	510,622	792,500

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2017年3月21日 至 2017年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,963,182	697,129	1,666,542	575,783	92,945	9,995,583	-	9,995,583
セグメント間の内部 売上高又は振替高	868	36,063	262,858	21	79,288	379,100	△379,100	-
計	6,964,050	733,193	1,929,401	575,805	172,234	10,374,684	△379,100	9,995,583
セグメント利益又は 損失(△)	1,147,631	27,953	104,836	△50,157	35,412	1,265,676	△546,424	719,252

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△546,424千円には、セグメント間取引消去9,372千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555,797千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2018年3月21日 至 2018年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	オート機器 事業	情報機器事業	生活機器事業	住設機器事業	その他の事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	6,890,092	813,641	2,304,511	881,133	90,094	10,979,473	-	10,979,473
セグメント間の内部 売上高又は振替高	287	43,264	269,292	4,661	83,278	400,783	△400,783	-
計	6,890,380	856,905	2,573,803	885,794	173,373	11,380,257	△400,783	10,979,473
セグメント利益又は 損失(△)	1,013,782	93,072	131,072	△44,137	31,449	1,225,239	△664,000	561,239

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△664,000千円には、セグメント間取引消去4,731千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△668,731千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない四半期連結財務諸表提出会社の費用です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

当社は、2018年7月18日に株式会社ジャパンシステムの株式を取得し、当社の連結子会社としました。なお、「生活機器事業」セグメントにおいて、当該事象によるのれんの発生額は682百万円でありませす。